

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 主日礼拝 NO.1139 2020年9月27日

牧師 山本 護 奏楽 山本 恵美 第一部礼拝 司式 青柳 明美 9:30~10:30
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 青柳 均 11:00~12:00

| | | | | | |
|---|---|---------------------|---|---|--------------------|
| 前 | 奏 | 黙想 | 祈 | 禱 | |
| 頌 | 栄 | 539 あめつちこぞりて | 讃 | 美 | 歌 527 わがよろこび わがのぞみ |
| 祈 | 禱 | | 献 | 金 | |
| 聖 | 書 | レビ記 20:2 | 讃 | 詠 | 547 いまささぐるそなえものを |
| | | マルコによる福音書 13:1~2 | 黙 | 禱 | |
| 讃 | 美 | 歌 263 よろこばしき こえひびかせ | 主 | の | 祈り 564 |
| 説 | 教 | 『偶像を破棄する』 | 頌 | 栄 | 544 あまつみたみも |
| | | 長崎 哲夫 牧師 | 祝 | 禱 | 後 奏 |

モーセの十戒において、神がモーセに出会い、その名を告げた時から、つまり「礼拝」をさせた時から、神は具体的な言葉をもってモーセに語りかけ、「我が民イスラエルを『乳と蜜の流れる地』に導き上ろうと決心した」(出エ 3:17)と宣言されていた。かくして、「礼拝」は人が絶対者である神と出会い、神に対して崇敬の念を表現する一切の行為であった。此处では特に、「労働する」から転じた「仕える」「腰を屈する」「平伏する」意味を持つ「礼拝の所作」で、労働との関わりが色濃いものだった。

我々はレビ記の礼拝は主として「祈りと賛美と説教」による今の礼拝形式を異とし、幕屋にて祭司の手で犠牲と供物を献げることであったことを知らされた。しかしそれは、出エジプトするモーセにより、かの地の習慣を否定し神への信仰へと変えた形だった。

レビ記によれば、「彼らが敵の国にいる間も、わたしは彼らを捨てず、退けず、滅ぼし尽さず、彼らと結んだ契約を破らない。わたしは彼らの神、主だからである」(26:44)とする神はアブラハム・ヤコブ・イサクと契約し、かの地への帰還を導く神であった。幕屋では祭司による犠牲と供物の礼拝であったが、この背景にはそれらの礼拝の儀式形式は何れ後の預言者らの精神的・内面的な礼拝の強調によって批判され、改革の波に出会う宿命を持つ。問題は、神の信仰によって、神に呼びかけられた者とは誰なのかであった。特にレビ記 17-26 章は、その礼拝共同体全体が「聖なる者」になる為本来祭司らへの祭儀規定あるいは倫理規定であったものが礼拝者全般にまで一般化され、個々の禁止事項と共に特に貧しき者・寄留者・障碍者・雇用人・女性に対して手厚い配慮がなされた。その中で、幕屋を汚す「モレク神信仰」(レビ 18:21,20:2)には厳しい目が向けられた。これはフェニキアの供犠の一つで国家危急の場合幼児を火に焼いた小児犠牲の慣習(列下 16:3,21:6)だった。あの時、神は既にアブラハムのイサク奉獻(創 22:11)を雄羊に変えておられた。

読者は父アブラハムの神への命懸けの信仰を其処に見、神は彼の主への忠実を認めたのである。

偶像礼拝について、イエスの十字架以来最初の殉教者ステファノはエジプトの金の雄牛の像・天体礼拝と共にモレクの幕屋を糾弾、当時も各地に散見された慣習を見抜いていた(使徒 7:40)。我々に形は異なっても偶像礼拝は無いのか。聖書の先祖たちの見誤った不義は現代人には無いのか。だが、その様な者のために主は苦しみの十字架につかれていた。実際あの時もポンテオ・ピラトの苦しみを共にして主の前の清潔を求めていた者は何人かいた筈である。偶像礼拝とは何か。偶像=神ならざる虚しきものの意だ。「十戒」は最初の第 1-2 戒で十戒中最主要な教えとしてある。別けても「情熱の神」は、人格をもって人の内奥までを見んとされている。それは我々の信仰へのからの基本的な問いかけだった。BC31-AD14 年イスラエルを統治したローマ初代皇帝アウグストゥス(ルカ 2:1)元の名はガイウス・ユリウス・カエサル・オクタビウスが、ユダヤに派遣した代官ヘロデ・アンティパスはユダヤ人におもねって 46 年もかけて神殿修復工事中、主の弟子たちはその豪華さに「なんと素晴らしい石、なんと素晴らしい建物」(マコ 13:1)と驚き称賛した時、主は彼らの心を見抜かれていた。偶像礼拝とは、時代の人々の欲望達成への限りなき食欲、満足。神を思わないで人を思うことではなかったか。

本日の礼拝説教は長崎哲夫牧師。2ヶ月に一度、長崎牧師にお願いしていますが、聖書の根本に立つ説教によって皆さんの信仰が整えられますように。山本は、無牧の甲府中央教会で礼拝説教。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。